

トキ 野生復帰にむけて

52



ご意見ありがとうございました

トキの分散飼育に対して、平成20年12月8日～平成21年1月5日の期間、市民のみならずからパブリックコメントにより意見を募集しました。その結果、次のような意見をいただきましたので、ご紹介します。

なお、本紙ではスペースの都合上、いただいた意見を集約しています。

詳細は、市ホームページ (<http://www.city.sado.nigata.jp/>) および指定した閲覧場所(市役所トキ共生・環境課、各支所市民課、中央図書館、各教育事務所、出張所)で閲覧できます。

【トキの分散飼育に対する意見等】

意見等提出数 12件(佐渡島外での分散飼育 賛成10件、反対2件)

◆反対の意見

・鳥インフルエンザ対策のために分散飼育は必要だが、すでに多摩動物園に分散されているので、佐渡島内では3か所くらいに分散すればよいのではないか。また病気、怪我の処置もベテランの獣医がいるので、安心である。

◆賛成の意見

・鳥インフルエンザ対策のために佐渡島外への分散飼育に賛成。ただし、佐渡は長い間トキの保護に取り組んできた経過もあり、分散先では公開、放鳥はしないように要望する。

・トキの保護増殖、野生放鳥、鳥インフルエンザ対策等から佐渡島外への分散飼育は必要。分散先で公開し啓発してもらえば佐渡の活性化につながる。

・トキは日本の鳥、鳥インフルエンザ等による絶滅を回避することは佐渡島民としてではなく、日本国民の義務である。日本というくくりで分散候補地を検討すべきで、積雪が少なく環境の良い、なるべく佐渡から遠いところに分散飼育し、絶滅を回避する必要がある。

・かつては、能登半島にも生息していた。佐渡に移入して絶滅させてしまった。能登半島はトキが生息するために適した環境だと思ふ。観光事業等、利益優先の考え方には反対で自然の再生のみを考えるべきである。

◆市の考え方

「分散飼育(島外)」について

鳥インフルエンザ等の感染症による絶滅の回避などを目的に、距離の離れた複数の場所での分散飼育はより安全であると考えます。また、能登半島がある石川県が候補地となっており、場所は能登からも近い「いしかわ動物

園」にゲージを新設する予定となっています。

「分散飼育先(島外)での公開」「分散飼育先(島外)での放鳥」について

これまでの長きにわたり、トキ保護に取り組んでいる市民の心情に十分配慮していただきたいこと、人とトキが共生できる鳥づくりを目指していることなどから、分散飼育先での公開および放鳥は関係機関と十分協議していきたい。

繁殖期間は、トキの観察を控えましょう 3月下旬から6月下旬は、トキの繁殖期です

繁殖期は、種(しゅ)にとって、世代交代をし、命をつなぐ一番大事な時です。トキは人が近づくことで、営巣(巣づくりや子育て)をやめてしまうことがあります。トキが営巣している間は、トキを見に行くのは控えましょう。

トキは卵を抱いたりヒナを育てる本能を持っていますが、外敵が来れば恐怖に負けて逃げます。人が巣に近づいて親トキが巣から去ると、その間に他の鳥などが巣に入り、卵やヒナを食べたりすることがあります。他の生きものが人間の動きを見て、トキの巣を見つけてしまうこともあります。

繁殖期間中のトキは、とても神経質です。ストレスを感じると、トキは巣づくりそのものをやめてしまうことがあります。繁殖期間中は、トキを見に行かず、繁殖が成功することをみんなで願いましょう。繁殖が成功すれば、夏にはトキの親子が佐渡の空を羽ばたきます。

放鳥トキ情報は、インターネットや

佐渡市のケーブルテレビでご覧いただけます。

- ・野生復帰ステーション「放鳥トキ情報」
<http://ibis-info.blog.ocn.ne.jp/diary/>
 - ・佐渡市CNSテレビ 午後5時～
「CNSニュース」番組内「今日のトキ情報」
- ※佐渡トキファンクラブホームページではトキの繁殖に関する記事が読めます。

<http://toki-sado.jp/fanclub/>



市役所 トキ共生・環境課 ☎63-3113